法人単位資金収支計算書

(自) 令和3年4月1日 (至) 令和4年3月31日

第一号第一様式 (第十七条第四項関係) 頁 1

法 人 名 : 社会福祉法人 希望館

		人 名 : 社会福祉法人 希望館				(単位:円
		勘定科目	予 算 (A)	決 算 (B)	差異 (A) - (B)	備考
		介護保険事業収入	691, 101, 000	656, 232, 533	34, 868, 467	
		老人福祉事業収入	137, 277, 000	140, 257, 403	△2, 980, 403	
		児童福祉事業収入	487, 824, 000	491, 305, 012	△3, 481, 012	
		保育事業収入				
		障害福祉サービス等事業収入	4, 512, 000	4, 558, 775	△46, 775	
		生活保護事業収入				
	収	医療事業収入				
	入	〇〇収入				
1		借入金利息補助金収入				
事		経常経費寄附金収入	3, 530, 000	4, 542, 354	△1, 012, 354	
業		受取利息配当金収入	3,000	3, 015	△15	
活		その他の収入	13, 536, 000	13, 715, 610	△179, 610	
に		流動資産評価等による資金増加額				
事業活動による収支		事業活動収入計(1)	1, 337, 783, 000	1, 310, 614, 702	27, 168, 298	
収		人件費支出	892, 299, 000	903, 811, 187	△11, 512, 187	
支		事業費支出	209, 776, 000	206, 730, 322	3, 045, 678	
		事務費支出	124, 527, 400	125, 532, 982	△1, 005, 582	
	支出	授産事業支出				
		〇〇支出				
		利用者負担軽減額				
		支払利息支出	2, 167, 000	1, 899, 769	267, 231	
		その他の支出	4, 937, 000	4, 742, 150	194, 850	
		流動資産評価損等による資金減少額		11, 013	△11, 013	
		事業活動支出計(2)	1, 233, 706, 400	1, 242, 727, 423	△9, 021, 023	
Щ		事業活動資金収支差額(3)=(1)-(2)	104, 076, 600	67, 887, 279	36, 189, 321	
		施設整備等補助金収入				
		施設整備等寄附金収入				
1		設備資金借入金収入				
施	入	固定資産売却収入				
整		その他の施設整備等による収入				
備		施設整備等収入計(4)	0	0	0	
施設整備等に		設備資金借入金元金償還支出	30, 564, 000	29, 343, 000	1, 221, 000	
ょ		固定資産取得支出	16, 964, 000	19, 757, 230	△2, 793, 230	
よる収支	支出	固定資産除却・廃棄支出				
	出	7 7 7 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2	704, 000	703, 200	800	
		その他の施設整備等による支出				
		施設整備等支出計(5)	48, 232, 000	49, 803, 430	△1, 571, 430	
Ш		施設整備等資金収支差額(6)=(4)-(5)	△48, 232, 000	△49, 803, 430	1, 571, 430	

法人単位資金収支計算書

(自) 令和3年4月1日 (至) 令和4年3月31日

第一号第一様式 (第十七条第四項関係) 頁 2

法 人名:社会福祉法人 希望館

		勘定科目	予 算 (A)	決 算 (B)	差異 (A) - (B)	備考
		長期運営資金借入金元金償還寄附金収入				
		長期運営資金借入金収入	100, 000, 000	100, 000, 000		
		長期貸付金回収収入				
その	収入	投資有価証券売却収入				
の 4h	/ \	積立資産取崩収入	157, 880, 000	216, 515, 153	△58, 635, 153	
あ		その他の活動による収入				
他の活動による収支		その他の活動収入計(7)	257, 880, 000	316, 515, 153	△58, 635, 153	
黝[長期運営資金借入金元金償還支出	100, 000, 000	100, 000, 000		
ア	1	長期貸付金支出				
る v		投資有価証券取得支出				
支		積立資産支出	159, 484, 000	256, 711, 447	$\triangle 97, 227, 447$	
		その他の活動による支出				
		その他の活動支出計(8)	259, 484, 000	356, 711, 447	△97, 227, 447	
		その他の活動資金収支差額(9)=(7)-(8)	△1, 604, 000	△40, 196, 294	38, 592, 294	
	予備	肯費支出(10)				
当期資金収支差額合計(11)=(3)+(6)+(9)-(10)			54, 240, 600	\triangle 22, 112, 445	76, 353, 045	
	土油	胡末支払資金残高(12)	175, 268, 006	175, 268, 006	0	
当期末支払資金残高(11)+(12)			229, 508, 606	153, 155, 561		

[※]本様式は、勘定科目の大区分のみを記載するが、必要のないものは省略することができる。ただし追加・修正はできないもの とする。

法人単位事業活動計算書

(自) 令和3年4月1日 (至) 令和4年3月31日

第二号第一様式 (第二十三条第四項関係) 頁 1

法 人名:社会福祉法人 希望館

124	八 石 · 牡云悃似伝八 布至郎			(単位・円
	勘定科目	当年度決算(A)	前年度決算(B)	増減 (A) - (B)
Т	介護保険事業収益	656, 232, 533	654, 488, 913	1, 743, 620
	老人福祉事業収益	140, 257, 403	147, 445, 837	△7, 188, 434
	児童福祉事業収益	491, 305, 012	492, 012, 435	△707, 423
	保育事業収益			
١.	障害福祉サービス等事業収益	4, 558, 775	4, 853, 650	△294, 87
収	生活保護事業収益			
1 2000	医療事業収益			
	○○収益			
サ	経常経費寄附金収益	4, 542, 354	8, 141, 298	△3, 598, 94
	その他の収益	323, 599	910, 183	△586, 58
ビス活動増減	サービス活動収益計(1)	1, 297, 219, 676	1, 307, 852, 316	△10, 632, 64
活厂	人件費	905, 324, 370	900, 483, 001	4, 841, 36
動	事業費	206, 730, 322	215, 724, 746	△8, 994, 42
瑁 減	事務費	125, 532, 982	131, 280, 021	△5, 747, 03
の	授産事業費用			
部	○○費用			
費	利用者負担軽減額			
用用	減価償却費	87, 726, 768	89, 404, 700	$\triangle 1,677,93$
	国庫補助金等特別積立金取崩額	△56, 175, 983	△57, 234, 587	1, 058, 60
	徴収不能額	11, 013	160, 524	△149, 51
	徵収不能引当金繰入			
	その他の費用	319, 807	369, 059	△49, 25
	サービス活動費用計(2)	1, 269, 469, 279	1, 280, 187, 464	△10, 718, 18
	サービス活動増減差額(3)=(1)-(2)	27, 750, 397	27, 664, 852	85, 54
	借入金利息補助金収益			
	受取利息配当金収益	3, 015	3, 007	
	有価証券評価益			
収	有価証券売却益			
サ 益	投資有価証券評価益			
 ビ	投資有価証券売却益			
ラ 活	その他のサービス活動外収益	13, 711, 818	10, 729, 005	2, 982, 813
活 動 —	サービス活動外収益計(4)	13, 714, 833	10, 732, 012	2, 982, 82
外	支払利息	1, 899, 769	2, 125, 347	△225, 578
外 増 減	有価証券評価損			
σ	有価証券売却損			
部 費用	投資有価証券評価損			
	投資有価証券売却損			
	その他のサービス活動外費用	4, 742, 150	5, 156, 010	△413, 86
	サービス活動外費用計(5)	6, 641, 919	7, 281, 357	△639, 43
	サービス活動外増減差額(6)=(4)-(5)	7, 072, 914	3, 450, 655	3, 622, 25
	経常増減差額(7)=(3)+(6)	34, 823, 311	31, 115, 507	3, 707, 80

法人単位事業活動計算書

(自) 令和3年4月1日 (至) 令和4年3月31日

第二号第一様式 (第二十三条第四項関係) 頁 2

法 人 名 : 社会福祉法人 希望館

	<i>^</i>	八			(単位:円)
		勘定科目	当年度決算(A)	前年度決算(B)	増減 (A) - (B)
		施設整備等補助金収益		12, 703, 000	△12, 703, 000
		施設整備等寄附金収益			
	ıl ə	長期運営資金借入金元金償還寄附金収益			
	収益	固定資産受贈額			
		固定資産売却益		18, 106, 359	△18, 106, 359
rl.de		その他の特別収益			
特		特別収益計(8)	0	30, 809, 359	△30, 809, 359
特別増減		基本金組入額			
順の		資産評価損			
部	費用	固定資産売却損・処分損		16, 745, 366	△16, 745, 366
		国庫補助金等特別積立金取崩額(除却等)			
		国庫補助金等特別積立金積立額	3, 408, 500	1, 243, 000	2, 165, 500
		災害損失			
		その他の特別損失			
		特別費用計(9)	3, 408, 500	17, 988, 366	△14, 579, 866
		特別増減差額(10)=(8)-(9)	△3, 408, 500	12, 820, 993	△16, 229, 493
当期	月活 !	動増減差額(11)=(7)+(10)	31, 414, 811	43, 936, 500	△12, 521, 689
繰	前其	朋繰越活動増減差額(12)	592, 465, 182	610, 928, 682	△18, 463, 500
繰越活	当其	月末繰越活動増減差額(13)=(11)+(12)	623, 879, 993	654, 865, 182	△30, 985, 189
動増	基本	金取崩額(14)	0	0	0
減差)他の積立金取崩額(15)	216, 284, 000	156, 000, 000	60, 284, 000
額の	その)他の積立金積立額(16)	254, 967, 111	218, 400, 000	36, 567, 111
	次其	月繰越活動増減差額(17)=(13)+(14)+(15)-(16)	585, 196, 882	592, 465, 182	△7, 268, 300

[※]本様式は、勘定科目の大区分のみを記載するが、必要のないものは省略することができる。ただし追加・修正はできないものとする。

法人単位貸借対照表

令和4年3月31日現在

第三号第一様式 (第二十七条第四項関係) 頁 1

法 人 名 : 社会福祉法人 希望館

	資産の	の部		負債の部				
	当年度末	前年度末	増減		当年度末	前年度末	増減	
流動資産	284, 767, 201	309, 788, 694	△25, 021, 493	流動負債	260, 838, 840	265, 751, 888	△4, 913, 048	
現金預金	22, 154, 500	66, 164, 715	△44, 010, 215	短期運営資金借入金				
有価証券				事業未払金	91, 230, 916	92, 134, 619	△903, 703	
事業未収金	238, 817, 394	215, 771, 740	23, 045, 654	その他の未払金				
未収金				支払手形				
未収補助金	14, 588, 000	25, 280, 000	△10, 692, 000	役員等短期借入金				
未収収益				1年以内返済予定設備資金借入 金	28, 524, 000	30, 528, 000	△2, 004, 000	
受取手形				1年以内返済予定長期運営資金 借入金	100, 000, 000	100, 000, 000		
貯蔵品				1年以内返済予定リース債 務	703, 200	703, 200		
医薬品				75 1年以内返済予定役員等長期借 入金				
診療・療養費等材料				1年以内支払予定長期未払 金				
給食用材料				未払費用				
商品・製品				預り金	26, 298, 375	32, 127, 285	△5, 828, 910	
仕掛品				職員預り金	14, 082, 349	10, 258, 784	3, 823, 565	
原材料				前受金				
立替金	8, 251, 734	1, 419, 415	6, 832, 319	前受収益				
前払金				仮受金				
前払費用				賞与引当金				
1年以内回収予定長期貸付 金				その他の流動負債				
短期貸付金	300,000	300,000						
仮払金	655, 573	852, 824	△197, 251					
1年以内提供予定長期前払費用								
その他の流動資産								
徴収不能引当金								

法人単位貸借対照表

令和4年3月31日現在

第三号第一様式 (第二十七条第四項関係) 頁 2

法 人 名 : 社会福祉法人 希望館

	資 産 (の 部		負債の部			
	当年度末	前年度末	増減		当年度末	前年度末	増減
固定資産	1, 820, 128, 162	1, 848, 813, 557	△28, 685, 395	固定負債	167, 275, 606	194, 716, 774	△27, 441, 168
基本財産	1, 442, 185, 982	1, 519, 204, 361	△77, 018, 379	設備資金借入金	150, 781, 000	178, 120, 000	△27, 339, 000
土地	173, 281, 266	173, 281, 266		長期運営資金借入金			
建物	1, 268, 904, 716	1, 345, 923, 095	△77, 018, 379	リース債務	891, 000	1, 594, 200	△703, 200
定期預金				役員等長期借入金			
投資有価証券				退職給付引当金	15, 603, 606	15, 002, 574	601, 032
その他の固定資産	377, 942, 180	329, 609, 196	48, 332, 984	長期未払金			
土地	36, 940, 300	36, 940, 300		その他の固定負債			
建物				負債の部合計	428, 114, 446	460, 468, 662	△32, 354, 216
構築物	4	93, 361	△93, 357	純	資 産	の音	3
機械及び装置	35, 562, 201	34, 757, 546	804, 655	基本金	119, 312, 566	119, 312, 566	
車輌運搬具	5	5		基本金	119, 312, 566	119, 312, 566	
器具及び備品	20, 066, 934	12, 741, 558	7, 325, 376	国庫補助金等特別積立金	708, 303, 359	761, 070, 842	△52, 767, 483
建設仮勘定				国庫補助金等特別積立金	708, 303, 359	761, 070, 842	△52, 767, 483
有形リース資産	1, 298, 768	2, 083, 668	△784, 900	その他の積立金	263, 968, 110	225, 284, 999	38, 683, 111
権利	902, 200	902, 200		人件費積立金	180, 898, 119	155, 760, 999	25, 137, 120
ソフトウェア	3, 600, 052	1, 802, 985	1, 797, 067	修繕積立金	73, 611, 000	58, 611, 000	15, 000, 000
無形リース資産				備品等購入積立金	9, 458, 991	10, 913, 000	△1, 454, 009
投資有価証券				施設整備等積立金			
長期貸付金				次期繰越活動增減差額	585, 196, 882	592, 465, 182	△7, 268, 300
退職給付引当資産	15, 603, 606	15, 002, 574	601, 032	(うち当期活動増減差額)	31, 414, 811	43, 936, 500	△12, 521, 689
長期預り金積立資産							
人件費積立資産	180, 898, 119	155, 760, 999	25, 137, 120				
修繕積立資産	73, 611, 000	58, 611, 000	15, 000, 000				
備品等購入積立資産	9, 458, 991	10, 913, 000	△1, 454, 009				
施設整備積立資産							
措置施設繰越特定預金							
差入保証金							
長期前払費用							
その他の固定資産							
				純資産の部合計	1, 676, 780, 917	1, 698, 133, 589	△21, 352, 67
資産の部合計	2, 104, 895, 363	2, 158, 602, 251	△53, 706, 888	負債及び純資産の部合計	2, 104, 895, 363	2, 158, 602, 251	△53, 706, 88

[※]本様式は、勘定科目の大区分及び中区分を記載するが、必要のない中区分の勘定科目は省略することができる。 ※勘定科目の中区分についてはやむを得ない場合、適当な科目を追加できるものとする。